

## 令和7年 霧島市観光動向について（確定値）

### I 令和7年の動向

市内においては、昨年3月の新燃岳噴火に始まり、7月の霧島地区における断水及び温泉供給の停止、8月の大雨による水害により、観光業に大きく影響を及ぼした。また、鹿児島県においては、6月のトカラ列島近海の地震活動や香港での日本列島大地震の根拠のない噂の蔓延により、上海・香港便が運休した。さらに、これらの災害や根拠のない噂の報道等による風評被害を受け、観光客が減少した。

一方で、大型宿泊施設のリニューアルオープンや、宿泊助成制度、霧島神宮駅周辺のまちづくり開発等、観光客を呼ぶキーコンテンツも続々とオープンした結果、全体観光客数は101.81%とほぼ前年と同水準となった。

#### (1) 宿泊客数の動向

新燃岳の噴火や水害により減少していたが、宿泊助成等により宿泊者数が戻り、対前年比102.00%とほぼ前年通りであった。国内からの宿泊客数は対前年比101.99%で、県外からの宿泊客数は減少したが、県内からの客数が増えたため、結果として同程度であった。外国人宿泊客数は、定期便の運休により大きく落ち込むことが予測されたが、チャーター便の就航もあり、対前年比は102.09%と前年と同程度に落ち着いた。

#### (2) 日帰客数の動向

新燃岳の噴火や水害等により減少していたが、宿泊助成等により観光客数が増加した結果、観光施設の日帰り客数が10月には対前年比109.46%と大きく増加し、令和7年は対前年比101.78%と前年と同程度であった。

### II 観光客数の推移

霧島市		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
観光客数	全体宿泊客数 (A)	542,137	721,792	827,919	778,436	793,987
	対前年比 (宿泊数)	90.84%	133.14%	114.70%	94.02%	102.00%
	日帰客数 (B)	3,949,817	4,883,558	5,804,292	5,593,410	5,692,862
	対前年比 (日帰数)	86.22%	123.64%	118.85%	96.37%	101.78%
	合計 (A)+(B)	4,491,954	5,605,350	6,632,211	6,371,846	6,486,849
	対前年比	86.75%	124.79%	118.32%	96.07%	101.81%
宿泊内訳	県内からの宿泊客数	219,062	230,781	208,080	189,972	210,633
	県外 (国内) 宿泊客数	321,896	486,536	578,085	519,137	512,531
	国内宿泊客数	540,958	717,317	786,165	709,064	723,164
	対前年比 (国内)	93.30%	132.60%	109.60%	90.19%	101.99%
	外国人宿泊客数	1,179	4,475	41,754	69,372	70,823
	対前年比 (外国人)	6.77%	379.56%	933.05%	166.15%	102.09%